

電磁耐性試験機

■機器の概要

電子・電気製品の電磁ノイズ耐性の試験を行うための試験機です。放射イミュニティ試験と伝導イミュニティ試験が可能です。

■活用事例の内容

活用例① 放射イミュニティ試験

放射イミュニティ試験は放射電磁波ノイズが製品に印可されることで、誤動作等の不具合となることを試験します。具体的には電波暗室内にて製品からアンテナを3mの距離に設置し、規格に定められた試験周波数および試験レベルの妨害波をアンテナより輻射し、誤動作の評価を行います。近年の情報機器の高速化に伴いGHz帯での試験も多くなっています。



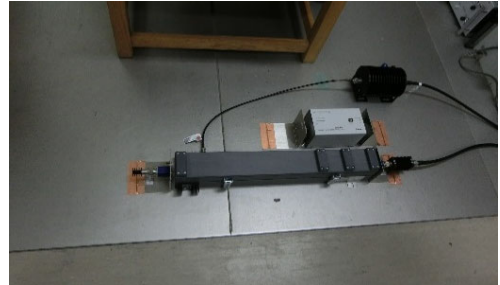
MHz帯試験(80M~1GHz)



GHz帯試験(1~6GHz)

活用例② 伝導イミュニティ試験

放射イミュニティ試験は電源や通信ケーブルから電磁ノイズが製品に印可されることで、誤動作等の不具合となることを試験します。



試験風景

■仕様・留意事項

○放射イミュニティ試験

周波数範囲：80MHz~6GHz

試験レベル：3V/m、10V/m

※注意事項

供試品の動作状況の確認、あるいは供試品の制御のために、遠隔制御装置等の補助機器を併用する必要があるため、それら装置を試験室外に設置されたい場合は、金属ケーブルを電磁耐性評価室のシールド隔壁に貫通させることになります。その場合は、電波暗室のシールドを破ることになり、放射する電界に影響が生じ、正しく試験ができない場合があります。

○伝導イミュニティ試験

周波数範囲：150kHz~80MHz

試験レベル：3V、10V

